

Nougyou Nounon

いしのまきNN通信



トヤケ森から望む石巻管内の風景

「いしのまきNN通信」は、石巻地域の農業農村整備事業に関連する活動等を広くお知らせすることを目的に、年3回程度発行しています。掲載希望の情報等がありましたら農村振興班までご一報ください。今後ともよろしく申し上げます。

石巻市大川地区 長面工区で本格営農再開

Agriculture & Farm Village

第34号の目次:

東日本大震災により被災した石巻市大川地区長面工区で、平成28年春、6年ぶりに営農が再開しました。

長面工区は石巻市内でも特に津波による被害が大きい地区でしたが、干陸化及び農地復旧工事を進め、平成26年・27年に実施された試験作付けでは、塩害の影響がないことが確認されました。

同地区では、今年度新たに72haの農地で営農を再開し、昨年度から営農再開している6haと合わせて、全78haの農地で作付が可能となりました。



▲ 長面工区 整備後のほ場
(H28.5.26)

石巻市大川地区長面工区で本格営農再開	1
平成28年度 奥松島地域営農再開実証プロジェクト	2
田んぼの学校2016	3
自治法派遣による派遣職員の紹介	4

この営農再開を祝し、平成28年5月26日、長面工区中央部のほ場で水稻移植セレモニーが開催されました。セレモニーでは、この地域の農業を担う「株式会社宮城リスタ大川」と「農事組合法人みのり」の代表者が紹介され、(株)宮城リスタ大川により作付作業が行われました。

大川地区では413haの農地復旧を予定しています。うち針岡工区175haは平成26年に全面営農再開しており、長面工区238haは、営農再開したほ場面積が78ha、復旧工事中の面積が160haとなっています。平成31年度の長面工区全面営農再開を目指し、残る160haの復旧工事を進めてまいります。



▲宮城リスタ大川による作付作業の様子
(H28.5.26)

平成28年度 奥松島地域営農再開実証プロジェクト

営農再開実証プロジェクトとは

東松島市奥松島地域は、東日本大震災により東松島市内で最も深刻な津波被害を受けた地区のひとつです。この地域で、平成25年6月、「営農再開へ早期の見える復旧・復興」を目標に掲げた「奥松島地域営農再開実証プロジェクト」が始動しました。

平成25年から26年にかけて、浸水した農地の復旧工事が行われ、整備された試験ほ場で水稻やソバ・大麦などの試験栽培が行われました。各作物について有効な試験結果が得られ、水稻は育成過程で塩害の影響を受けなかったことが確認されました。平成27年度は、50aの試験ほ場が新設され、営農再開後の転作作物の候補である大豆の試験作付けが行われました。また、水稻の直播栽培による試験作付けも行われました。

平成28年春、営農再開実証プロジェクトの一環として2つのイベントが開催されました。

宮戸6分区 果樹植栽セレモニー

宮戸地区では、平成27年10月に設立された「宮戸ふるさと水と土保全隊」が中山間地域等農村活性化事業補助金を活用し、復旧した水田を果樹園として利用する地域計画を立てています。その第一歩として、平成28年3月30日、果樹植栽セレモニーが開催され、宮戸6分区の約1haの農地に桃といちじく計120本が植えられました。

平成28年7月時点で、3種の桃139本と6種のいちじく83本が植栽されています。平成29年から平成30年にかけて、宮戸8分区でいちじく192本と柿40本が、宮戸9分区で梅151本が、それぞれ植栽される予定です。

洲崎・東名 営農再開記念 水稻移植セレモニー

平成28年春、東松島市洲崎・東名地区で、復旧予定の80haのうち40haのほ場について整備が完了し、6年ぶりに本格営農再開を果たしました。同年5月20日には営農再開を記念した水稻移植セレモニーが開催され、平成27年3月に発足した「農事組合法人奥松島グリーンファーム」が法人として初めて水稻移植作業を行いました。

営農再開後の作物育成には、プロジェクトによって得られたデータ（塩分濃度、湛水・排水状況、作物の生育・収量等のモニタリング結果）が活用されます。また、残る40haの農地について、平成29年度以降の営農再開が予定されています。



▲果樹植栽セレモニー 植栽方法説明の様子
(H28.3.30)



▲奥松島グリーンファームのみなさん
(H28.5.20)



▲水稻移植作業の様子
(H28.5.20)

田んぼの学校 2016

農業・農村は、食料を供給するだけでなく、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全など、多様な恩恵を国民全体に与えています。農業・農村の持つこのような多面的機能の維持・発揮のため、平成27年度に「日本型直接支払制度」が法制化され、その中のひとつに「多面的機能支払交付金」が位置づけられています。

多面的機能支払交付金事業が支援するのは、農業・農村が持つ多面的機能の維持・発揮につながる地域の活動です。東部管内では、このような地域の活動の一環として、地元の多面的機能支払交付金活動組織が土地改良区などと協力し、小学生に対する体験学習を行っています。

石巻市立 前谷地小学校

石巻市立前谷地小学校では、多面的機能支払交付金の活動組織である「前谷地ふるさと保全会広域協定」の協力のもと、平成28年5月27日に営農体験（田植え）が、平成28年7月12日に生きもの調査・農業施設見学会が行われました。12日の農業施設見学会・生きもの調査は、石巻市・河南矢本土地改良区・当部も参加し、共同作業を行いました。

営農体験では、保全会構成員である地元農家の方に、児童たちが手植えをするお手伝いをしていただきました。また、当部からは、農業農村の持つ多面的機能について説明を行いました。



◀ 田植え定規を動かす
地元農家の方と児童たち
(H28.5.27)



◀ 和瀨揚水機場見学
(H28.7.12)



▶ 記念撮影
(H28.7.12)

施設見学会では和瀨揚水機場と箕入排水機場を見学し、河南矢本改良区が施設の説明をすると、児童たちは浮かんだ疑問を積極的に質問していました。その後、前谷地ふるさと保全会が設置した魚道内で水質調査・生きもの調査が行われ、児童たちは先生や保全会・関係機関の方々と一緒に、大はしゃぎで調査を楽しんでいました。

石巻市立 鹿又小学校

石巻市立鹿又小学校では、平成28年7月11日に出前講座及び農業施設見学会が行われ、多面的機能支払交付金の活動組織である「鹿又ふるさと保全会広域協定」から協力があつたほか、河南矢本土地改良区・石巻市・当部も参加し、出前講座・施設説明等を行いました。

施設見学での学習効果を高めるため、河南矢本土地改良区と当部の担当者が、それぞれ農業水利施設・多面的機能について、出前講座を行いました。

- ▶ 出前講座
 - ▶ 左：中山揚水機場見学
 - ▶ 右：閉会式
- (H28.7.11)



その後、中山揚水機場、鹿又第二揚水機場、曾波神排水機場を見学しました。児童たちは見学会を通して農業水利施設の重要さを感じたようで、「機械がこわれてしまうから川にごみを捨てないで、と周りの人にも伝えてほしい」という保全会・改良区の方々の言葉にしっかりと耳を傾け、受け止めていました。

災害復旧支援の自治法派遣職員のみなさん

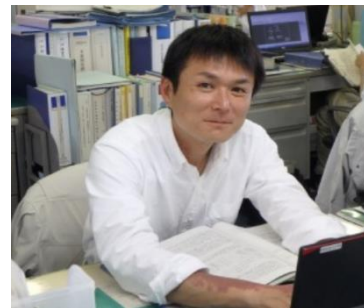
平成23年9月1日より、地方自治法の規定に基づき、災害復旧支援のため県外から自治法派遣職員の方々に応援に来て頂いております。

現在、当部では愛知県4名、兵庫県3名、徳島県2名、岡山県2名、島根県1名、神奈川県1名の方が応援に来ています。また、これまでに三重県、佐賀県の職員の方も応援に来ていただきました。

当部では、自治法派遣職員のみなさんと協力し、農地・農業用施設の災害復旧業務に取り組んでまいります。



左：愛知県から派遣の職員（7月）



右：島根県から派遣の職員



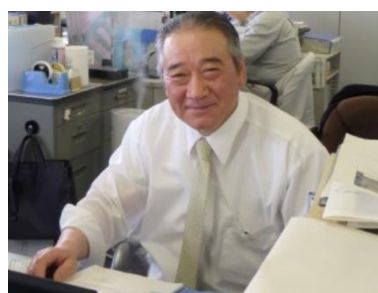
徳島県から派遣の職員



▶ 兵庫県から派遣の職員



▲岡山県から派遣の職員



▲神奈川県から派遣の職員

一日も早い災害復旧と
地域復興をめざして

宮城県東部地方振興事務所 農業農村整備部
(編集：農村振興班)

〒986-0812 石巻市東中里1丁目4-32

Tel 0225(95)1411 (内)489 Fax 0225(96)4880

E-mail et-ss-nos@pref.miyagi.jp

URL [Http://www.pref.miyagi.jp/sosHiki/et-sgsin-ns/](http://www.pref.miyagi.jp/sosHiki/et-sgsin-ns/)